

もっと！ もち米プロジェクト

※
43

毎月10日は
「名寄もち米の日」

問い合わせ・申し込み先
名寄市食のモデル地域実行協議会
(農務課農政係・風連庁舎1階)
☎01655③2511(内線312)
ホームページ
<http://nayoro-mochigome.com/>

名寄市はもち米生産日本一のまちです。もち米を市民の皆さまの誇りとし、子どもたちが自慢できるふるさとづくりを進めるために「もっと！もち米プロジェクト」を実施しています。

収穫の秋！第3回もち米サポーター養成塾を行いました

実際の農作業を体験して、名寄のもち米について学ぶ「もち米サポーター養成塾」。実りの秋を迎えた9月29日(土)に、稲刈り体験と出荷施設の見学を行いました！



日 本一のもち米生産地での実際の作業を体感するため、手刈りではなく、実際にコンバインに乗ってもらいました。



初 めてのコンバインにわくわくしながら乗車。刈り取られる稲のようすが気になります！



最 後にJA道北なよるのもち米出荷施設を見学。各農家で収穫したもち米がここに運ばれ、製品になって全国へ旅立っていきます。もち米が製品になるまでには、農家の方だけでなくたくさんの方の苦労があること、また、どのように製品になっていくのかを学びました。

＼最後となる4回目は12月に開催し、なよるもち大使にもちつきを教わります！／

COLUMN*

VOL.17

なよるっぽい家づくりの会*

防災機器の取り扱い〈消火器編〉

万が一、住居内で火災が発生した場合、初期消火の対処が明暗を分けます。そのため日頃から消火器の取扱方法を確認しておくことが必要です。

家庭に設置してある消火器は、適正に使うと初期消火に威力を発揮します。しかし、赤い容器に入った消火器を台所に置いてあるだけで、その使い方を把握している人は、意外と少ないのではないのでしょうか。

消火器にはいくつかの種類があり、それぞれに特徴があります。消火器の耐用年数はおおむね8年、粉末薬剤は5年を目安に詰め替えます。容器には必ず有効期限が表示されていますので、定期的に点検してください。

また、消火器には「蓄圧式と加圧式」「粉末タイプと強化液タイプ」さらに、火災の種類に対応した「A・B・C」区分とがあります。

圧方式について

最近、加圧式の消火器は保守メンテナンスの関係からほとんど姿を消しました。

消火薬剤について

粉末タイプは一気に炎を消しやすい反面、噴射し

たときに粉末で視界が遮られるので室内では使いづらく、消火した後の片づけが大変です。一方の強化液タイプは、粉末ほど素早く消すことはできないものの、視界がクリアなまま消火活動を行えるので小規模な火災に向いています。消火剤も食品原料で作られているものが多く、消火後の片づけも粉末タイプに比べるとはるかに簡単です。スピードを重視するなら粉末タイプ、使い勝手を考えるなら強化液タイプを選ぶと良いでしょう。

消火器と火災の種類について

消火器は、普通火災(A)、油火災(B)、電気火災(C)と用途区分されていますが、住宅用には、これらすべてを網羅した「ABC」が適しています。

最近、コンパクトなスプレータイプの消火器も出回っています。使い方も簡単ですので各箇所に用意しておくことも検討されるといいと思います。



■問い合わせ なよるっぽい家づくりの会事務局
(NPO法人なよる観光まちづくり協会内)
☎01654⑨6711